

ポジティブネットYMCA募金
2020年7月
豪雨災害

ポジティブネットとは
 「互いを認め合い高め合うことのできる、
 善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク」のこと。
 YMCAでは、お互いに支え合い、
 助け合う中から生み出されるエネルギーを、
 地域の希望に変える働きを進めています。



上) 熊本県球磨川氾濫による橋の流失 下) 浸水被害を受けた球磨村の住宅

募金期間 2020.7.21[火]～9.30[水]

感謝 **311,695**円のご協力をいただきました (2020年8月末現在)

7月より九州を中心に甚大な被害を出した記録的豪雨は、浸水・洪水被害、土砂災害など、九州を中心に各地で被害を広げました。一方で新型コロナウイルス感染の拡大がボランティアの活動を困難にしています。横浜YMCAは全国にあるYMCAを通して、中長期的な視野に立って被災された人びとの困難に寄り添います。

8月までは、熊本YMCAが熊本県下の被災地域の支援活動を行っていましたが、9月から熊本YMCAからの要請を受けて、横浜YMCAは全国のYMCAとともに被災地での支援活動をスタートしました。引き続きコミュニティの復興支援を目指し、全国のネットワークや特性を活かした活動を展開していきます。皆様の募金によるご支援に心より感謝申し上げます。

横浜YMCAでは、全国のYMCAの協力のもと、支援活動を進めています。皆さまからいただいた尊いご支援は、以下の支援に届けます。

応急対策
 避難所支援
 物資購入・運搬

ボランティア
 の派遣と
 コーディネート

子ども・若者
 トラウマケア
 高校生支援

募金の受付方法

- YMCA窓口へ
- 郵便振替
【振込先】 郵便振替口座 00230-8-2878
 公益財団法人横浜YMCA
 * 通信欄に「ごう雨支援」とお書きください。
 * 2千円を超える募金は税額控除対象となります。

REPORT

9月8日から熊本YMCAからの要請を受けて、横浜YMCAのスタッフも深刻な豪雨被害を受けた熊本県球磨村に現地入りし、避難所である旧多良木高校を拠点に、全国のYMCAスタッフやNGOピースポートとともに支援活動をスタートしました。

避難所には9月16日時点で151名が生活しており、その半数が65歳以上です。新型コロナウイルス対策をしながら、被災者の方々の生活を支えていくことが大きな役割となっています。

引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



■支流と合流する箇所の被害が深刻、家の二階部分まで浸水



■山からの土石流痕も村内の複数個所で発生した



■避難所の旧多良木高校は被災地から車で1時間と遠いため、早期の仮設住宅入居を目指し急ピッチで仮設住宅建設が進んでいる



～支援活動報告～

避難所では支援物資の運搬・整理、食事提供、清掃・消毒などの衛生管理、運動不足解消のためのレクリエーションなどを中心に活動しています。避難所生活が2か月にもなるなか、新型コロナウイルス対策により炊き出しやカフェ活動などができず、お弁当中心の生活となっています。温かい食事への切望、野菜不足を心配する声、衛生面での改善を希望する住民の方のご意見に寄り添い、お声がけをしながら、少しでも力になれるように活動していきます。

(横浜YMCAスタッフ 工藤俊二)